

**VESSEL**

**SP LINE**  
**充電式インパクトレンチ**  
**SP-8141J**

---

取扱説明書



- このたびは、充電式インパクトレンチ SP-8141J をお買い上げいただき、ありがとうございます。●ご使用前に、この取扱説明書をお読みください。
- お読みになった後はいつでも使用できるように大切に保管してください。
- 日本国内向け商品です。Certified only in Japan

**株式会社ベッセル**

## 安全にお使いいただくために

このたびは、充電式インパクトレンチ SP-8141Jをお買い上げいただき、ありがとうございます。本書は本製品の使い方と使用上の注意事項について記載しています。



ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、ご使用される全員が安全性について認識できるよう本書を活用してください。お読みになった後はいつでも参照できるようにすぐに取り出せる場所に大切に保管してください。

<b>△警告</b>	取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される場合
<b>△注意</b>	取り扱いを誤った場合、傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される場合 なお、「注意」に記載した事項でも重大な事故に結びつく可能性があります。安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

### 充電工具全般についての注意事項

ここでは充電工具全般の『安全上のご注意』について説明します。今回ご購入いただきました充電式インパクトレンチには当てはまらない項目も含まれています。

#### △警告 ●作業場

- 作業場は、整理整頓し、十分に明るくしてください。**  
散らかった暗い場所で作業すると事故の原因となります。
- 爆発を誘引することがある可燃性液体、ガス、又は粉塵がある場所では、電動工具を使用しないでください。**  
電動工具から発生する火花は、粉塵又は蒸気(ヒューム)を発火させることがあります。
- 電動工具の使用中は、子供及び第三者を近づけないでください。**  
注意が散漫になって、操作に集中できなくなることがあります。

#### △警告 ●電気的安全性

- 電動工具のプラグは、電源コンセントにあったものを使用してください。また、プラグを改造しないでください。**  
改造していないプラグ及びそれに対応するコンセントを使用することで、感電リスクは低減されます。
- 金属パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの接地されたものと、身体を接触させないでください。**  
身体が接地されたものと接触した場合、感電する恐れがあります。
- 電動工具を雨又は湿気のある状態にさらさないでください。**  
電動工具に水が入ると、感電する恐れがあります。
- コードを乱暴に扱わないでください。コードを引っ張って電動工具を引き寄せたり、又はプラグを抜くために、コードを引っ張らないでください。**

コードを、熱、油、鋭利な角又は動いているものに接触させないでください。

コードが損傷したり又は絡まったりすると、感電する恐れがあります。

5. **電動工具を戸外で用いる場合は、戸外の使用に適した延長コードを使用してください。**

戸外の使用に適したコードを使用することで、感電のリスクが低減されます。

6. **電動工具を湿った場所で用いることが避けられない場合、漏電遮断器(RCD)によって保護された電源を使用してください。**

漏電遮断器(RCD)を使用することで、感電のリスクは低減されます。

7. **ねじなどが、壁の中などに隠された配線又は電動工具自体の電源コードと接触する恐れがある場合は、ハンドルなどの絶縁された保持面を持って電動工具を操作してください。**

ねじなどが活電部と接触した場合電動工具のむき出しになった金属部に触ると、感電する恐れがあります。

### △警告 ●人的安全性



1. **電動工具の使用中は、油断をせず、現在、自分が何をしているかに注意し、電動工具の使用中は、自らの動作に対する作業安全を常に考慮してください。**

疲れていたり、アルコール又は医薬品を飲んでいる場合は、電動工具を使用しないでください。



電動工具の使用中的一瞬の不注意で、深刻な人的障害を引き起こす恐れがあります。

2. **安全保護具を使用してください。常に、保護めがねを装着してください。**

防塵マスク、滑り防止安全靴、ヘルメット、耳栓などの安全保護具を適切に用いることで、傷害事故を低減することができます。

3. **意図しない始動を避けるため、スイッチに指をかけて電動工具を運ばないでください。プラグを差し込む前に、スイッチが”OFF”位置にあることを確かめてください。**

スイッチに指をかけて電動工具を運んだり、スイッチが”ON”位置になった電動工具のプラグを差し込むと、意図せず始動し事故の原因となる恐れがあります。

4. **電動工具の電源を入れる前に、調整キー又はレンチを外してください。**

電動工具の回転部分に調整キー又はレンチを付けたままにしておくと、人的障害を引き起こす恐れがあります。

5. **無理な姿勢で作業しないでください。常に適切な足場及びバランスを維持してください。**  
これによって、予期しない状況でも電動工具を適切に操作することができます。
6. **だぶだぶ(余裕のある)衣服又は装飾品は身に着けず、きちんとした服装で作業してください。**  
髪、服及び手袋を回転部分に近づけないでください。  
だぶだぶ(余裕のある)の衣類、装飾品又は長髪で作業をすると、回転部に巻き込まれる恐れがあります。
7. **集塵装置が接続できるものは、適切に使用してください。**  
これらの装置を使用することによって、粉塵関連の危険を低減することができます。
8. **電動工具を使い慣れていても、安全性に注意して作業をしてください。不注意な行動は、重大な障害を引き起こす恐れがあります。**

### △警告

#### ●電気工具の使用及び手入れ

1. **電動工具に過剰な負荷を加えて使用しないでください。**  
用途に合った正しい電動工具を使用してください。  
適切に電動工具を使用することによって、より効率よく、安全に作業することができます。
2. **スイッチで始動及び停止ができなくなった電動工具は、使用せず修理してください。**  
スイッチで制御ができない電動工具を使用すると事故の原因となる恐れがあります。
3. **調整を行ったり、付属品を交換したり、又は電動工具を保管したりする前に、プラグを電源コンセントから抜いてください。**  
そうすることによって、電動工具を誤って始動させるリスクを軽減することができます。
4. **使用しない電動工具は、子供の手の届かないところに保管し、電動工具又はその指示に不慣れな者には電動工具を使用させないでください。**  
電動工具を扱い慣れてない者が使用すると事故の恐れがあります。
5. **電動工具及び付属品を適切に保守してください。**  
電動工具の動作に影響する恐れのある可動部分の芯ずれ又は結合、部品の破損及びその他の状態を点検し、異常がある場合は、使用する前に電動工具の修理を行ってください。  
電動工具の保守が十分でないことが、多くの事故の原因となっています。

6. **先端工具は、鋭利、かつ、清潔に保ってください。**  
先端工具を適切に手入れして鋭利に保つことで、作業の円滑さを失うことなく、操作も容易になります。
7. **電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具などは、作業条件及び実施する作業を考慮して、取扱説明書に従って、特定の電動工具に合うように使用してください。**  
意図された作業と異なる作業に電動工具を用いる場合、危険な状況になる恐れがあります。
8. **ハンドル及び保持面に、オイル又はグリースを付着させず、きれいな状態で乾燥させておいて下さい。**  
ハンドル又は保持面が滑ると、電動工具の安全な取り扱い又は制御を妨げる恐れがあります。

### △警告 ● バッテリー電動工具の使用及び手入れ

1. **製造業者が指定するバッテリー充電器及びバッテリーパックの組み合わせ以外では充電しないでください。**  
指定するバッテリー充電器及びバッテリーパックの組み合わせ以外で充電すると、火災を発生する恐れがあります。
2. **電動工具は、指定するバッテリーパック以外は、使用しないでください。**  
指定していないバッテリーパックを使用すると、人的被害及び火災のリスクを生じる恐れがあります。
3. **バッテリーパックを使用しない時は、クリップ、硬貨、鍵、くぎ(釘)、ねじなどのほかの金属物、又は端子間を短絡する恐れがあるその他の小さな金属物と分けて保管してください。**  
電池端子の短絡によって、やけど又は火災を生じる恐れがあります。
4. **過度な条件の下では、電池から液体が漏洩することがあります。電池から漏洩した液体への接触は避けてください。**  
漏洩した液体に接触した場合は、水で洗い流してください。液体が目に入った場合は、医師にご相談ください。  
電池から漏洩した液体は、炎症又はやけどの原因となる恐れがあります。
5. **破損又は改造したバッテリーパックまたは電動工具を使用しないでください。**  
使用すると、火災、爆発若しくはけが、または予期しない動作を生じる恐れがあります。
6. **火または高温にバッテリーパックまたは電動工具をさらさないでください。**  
火災又は 130°C 以上の温度にさらすと爆発する恐れがあります。

## 安全にお使いいただくために

7. 取扱説明書の指示に従って充電してください。取扱説明書で指定する温度範囲外では、バッテリーパックまたは電動工具を充電しないでください。

不適切または範囲外の温度で充電すると、バッテリーが損傷し、火災の危険が増大します。

### ⚠警告 ●修理

1. 製品の修理はお買い上げの販売店または当社へご連絡ください。

## 安全性に関連する記号



ご使用前に説明書を  
熟読してください



防振手袋を  
着用してください



保護眼鏡を  
着用してください



耳栓を  
着用してください

## 製品の概要

本製品は、ボルト・ナットの締め・緩めを目的としたバッテリー充電式インパクトレンチです。特に自動車タイヤのホイールナットを手回しのような作業、仮締めしたりすることができる回転数制御およびトルクリミットの機能がついています。

### ◆製品の特長

- ・自動シャットオフ機能で締め過ぎを防止
- ・ブラシレス DC モーターでメンテナンスフリー
- ・トリガススイッチの引き加減により調整可能
- ・片手で左右切り替え操作が行える正逆スライドスイッチを実装
- ・最大締付けトルク 300Nm のハイパワー
- ・軽量コンパクトな設計 重量 2.2kg(バッテリー含む)/全長 141mm

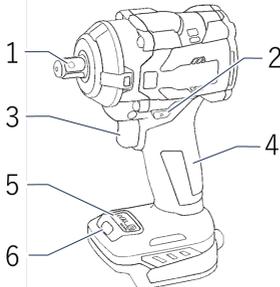
## 安全にお使いいただくために

### ◆同梱品

種類	品番	個数
充電式インパクトレンチ	SP-8141	1
バッテリー	SP-80185	1
充電器	SP-8018J	1
収納ケース	-	1
取扱説明書	-	1

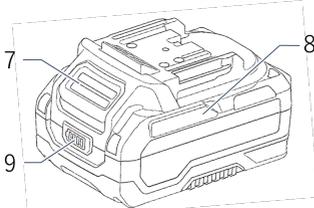
**△注意** 開梱時に包装資材の鋭利な箇所のでケガをしないよう注意してください。

### ◆インパクトレンチ各部名称および仕様

		1: アンビル 2: 正逆スライドスイッチ 3: トリガススイッチ 4: ハンドル 5: パネルボタン 6: LED ライト	
<b>品番</b>		SP-8141	
<b>モーター</b>		DC ブラシレス	
<b>定格電圧</b>		DC18.5 V	
<b>無負荷回転数</b>	<b>正回転 (右回転)</b>	モード1	0~1,000 min <sup>-1</sup>
		モード2	0~1,600 min <sup>-1</sup>
		モード3	0~2,800 min <sup>-1</sup>
	<b>逆回転 (左回転)</b>	モード1	0~1,000 min <sup>-1</sup>
		モード2	0~2,000 min <sup>-1</sup>
		モード3	0~2,800 min <sup>-1</sup>
<b>最大出力トルク</b>		300 N・m	
<b>四角ドライブ部</b>		12.7mm	
<b>対応ボルト径</b>	普通ボルト	M10~M20	
	高力ボルト	M10~M16	
<b>本体寸法 (SP-80185 装着時)</b>		長さ 141 × 幅 80 × 高さ 262 mm	
<b>本体重量 (SP-80185 装着時)</b>		2.2 kg	
<b>環境温度範囲</b>	使用または保管時	-20~40 °C	

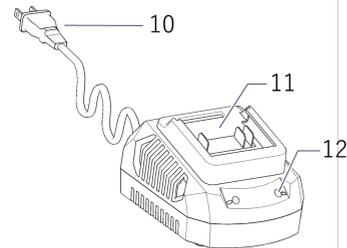
## 製品の概要

### ◆バッテリー各部名称および仕様

		7 : 着脱ボタン 8 : バッテリー残量表示 9 : バッテリー残量表示ボタン
<b>品番</b>		SP-80185
<b>出力電圧</b>		DC18.5 V
<b>容量</b>		5.0 Ah 92.5Wh
<b>充電回数</b>		約 500 回
<b>寸法</b>		長さ 125 × 幅 80 × 高さ 70 mm
<b>重量</b>		750g
<b>環境温度範囲</b>	<b>充電時</b>	5～35℃
	<b>使用または保管時</b>	-20～40℃

※バッテリーの寿命は使用状況によって異なります。

### ◆充電器各部名称および仕様

		10 : 電源プラグ 11 : バッテリー挿入部 12 : 充電表示ライト
<b>品番</b>		SP-8018J
<b>入力電圧</b>		単相交流 100V
<b>入力周波数</b>		50/60 Hz
<b>出力電圧</b>		約 DC21.5 V
<b>出力電流</b>		4.0 A
<b>充電時間</b>		約 85 分(SP-80185 充電時)
<b>寸法</b>		長さ 137 × 幅 108 × 高さ 75 mm
<b>重量</b>		420g
<b>環境温度範囲</b>	<b>充電時</b>	5～35℃
	<b>保管時</b>	-20～40℃

## 製品の概要

### ◆充電一回あたりの作業量目安(SP-8141とSP-80185を使用)

使用ボルト	M16 高力ボルト
締付け時間	3 秒
締付け本数	約 160 本

**⚠警告** 他社製品と組み合わせないでください。

<b>⚠警告</b>	インパクトレンチ本体・充電器・バッテリーは、以下の環境を避けてください。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・油などの可燃物やガスなどの爆発物、または粉じんなどのある環境</li> <li>・雨の中や湿った環境</li> <li>・40°C以上の高温</li> <li>・油や溶剤、薬品などで汚れた環境</li> </ul>
	製品仕様に従って使用してください。

### ◆騒音値／振動値

Sound Level	$L_{PA}$	[dB]	94.5
	$L_{WA}$	[dB]	105.5
Vibrations Level		[m/s <sup>2</sup> ]	13.16
Uncertainty K			2.45

※振動値 ahv=周波数補正振動加速度実行値の3軸合成値

### ○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所等周囲に迷惑をかけないよう、状況に応じて対策し、ご使用ください。

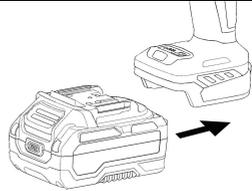
## 使用方法

### ◆バッテリーの取り付け/取り外し

<b>△注意</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バッテリーをインパクトレンチ本体に取り付け時や取り外し時に、トリガスイッチから手を放し押されていないことを確かめてください</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バッテリーは一番奥まで差し込んで取り付けてください。</li> <li>・指を挟まないように注意してください。</li> </ul>

#### ●取り付け

バッテリーをインパクトレンチ本体のガイドに合わせ、一番奥まで差し込みます。「カチッ」と音が鳴るまで差し込んでください。



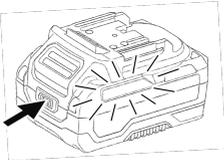
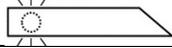
#### ●取り外し

バッテリーとインパクトレンチ本体をそれぞれつかみます。着脱ボタンを下へ押し込みながらバッテリーをスライドさせて前方に引き抜きます。



### ◆バッテリー残量表示機能

バッテリーの残量表示ボタンを押すと、ランプが点灯し、電池残量を確認することができます。ご使用の状況や気温などにより、表示される残量と実際の残量とは多少異なる場合があります。下記の表は目安としてください。

	ランプの点灯状態と電池残量	
	ランプ表示	バッテリー残量
		80～100%
		30～80%
		0～30%

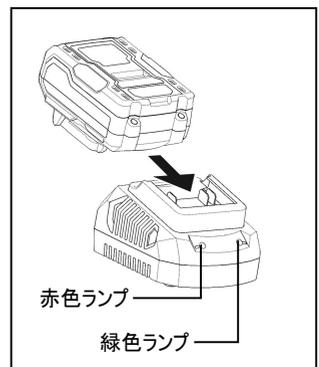
※着脱ボタンを押し込む事でもバッテリー残量表示ランプを点灯させて、バッテリー残量を確認することが出来ます。

## 使用方法

### ◆バッテリーを充電する

<p>△警告</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・屋内で充電してください。</li><li>・製品が落下しない、安定した場所に置いて充電してください。</li><li>・充電中バッテリーや充電器が高温になる事があります。 低温やけどの恐れがあるため取り扱いに注意してください。</li><li>・周囲温度が 5°C未満、35°C以上でバッテリーを充電しないでください。 バッテリーの不調や劣化、火災の恐れがあります。</li><li>・紙類や布類、畳、カーペット、ビニールなどの上に充電器を置いてバッテリーを充電しないでください。 風通しの悪い場所、直射日光の当たる場所ではバッテリーを充電しないでください。</li><li>・充電中のバッテリーや充電器を布などで覆わないでください。 充電中に充電器の通風孔を塞がないでください。 熱がこもり火災の恐れがあります。</li><li>・野外でバッテリーを充電しないでください。</li><li>・1台の充電器を使用して、バッテリーを取り替えて連続で複数のバッテリーを充電しないでください。 同じ充電器を連続して使用すると、充電器が発熱し、火災の恐れがあります。一度充電が完了した後、次の充電を行う場合は充電器が常温になるまで休ませてください。</li></ul>
<p>△注意</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ご購入時は、バッテリーは十分に充電されていないため、充電してからご使用ください。 使用前にバッテリーを満充電することで、充電式工具は能力を完全に発揮できます。</li></ul>

1. 充電器の電源プラグを交流 100V の電源コンセントに差し込みます。充電器の緑色のランプが点灯します。交流 100V 以外の電源や、昇圧器などのトランス類は使用しないでください。
2. バッテリーを充電器の一番奥まで差し込みます。  
「カチッ」と音が鳴るまで差し込んでください。赤色のランプが点灯し、充電を始めます。
3. 充電が完了すると、緑色のランプが点灯します。
4. 電源プラグを抜き、着脱ボタンを押してバッテリーを取り外します。



## 使用方法

※バッテリーを長期間(6か月以上)ご使用にならない場合は、充電してから保管してください。過放電によりバッテリー劣化のおそれがあります。

※リチウムイオンバッテリーは、保護回路によって使用時の過放電から保護されています。バッテリーが一定以上放電すると、充電するまで使用できなくなります

### ◆充電表示ランプ

充電器の充電表示ランプを見ることで、充電の状態が分かります。

充電表示ランプの表示と、充電の状態は以下の通りです。

ランプ		状態
赤色	緑色	
○消灯	●点灯	充電器電源 ON
●点灯	○消灯	充電中
○消灯	●点灯	充電完了

### ◆先端工具を取り付ける・取り外す

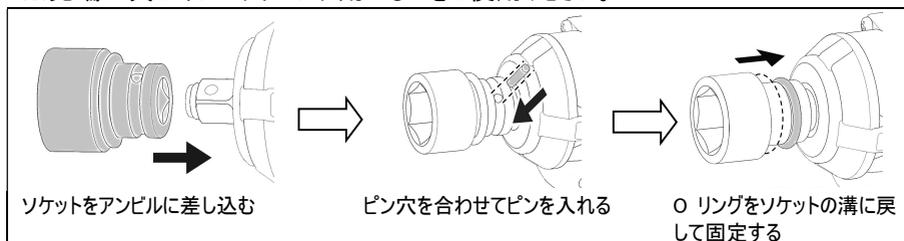
△注意	・ソケットは、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
	・ソケットは複数連結して使用しないでください。 作業ごとに、適したサイズのソケット一つを使用してください。
△警告	・先端工具の交換やメンテナンスを行う際はバッテリーを取り外して作業してください。意図しない動作でケガをする恐れがあります。

アンビルの先端(四角ドライブ部)にピン穴があります。これはソケットのピン穴と位置を合わせてピンとOリングで固定するためのものです。下図をご参照ください。

作業を行うときに充電工具がホイール等に干渉する際はロングソケットをご使用ください。

※インパクトレンチのメンテナンス、先端工具の交換などを行う前に、本体からバッテリーを取り外してください。輸送および保管時にも、バッテリーを取り外してください。意図せずにトリガスイッチを押すと、ケガをする恐れがあります。

※先端工具はインパクトレンチ用のものをご使用ください。

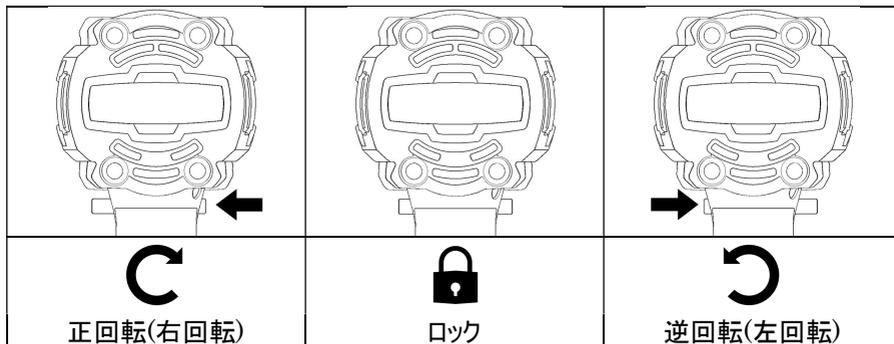


## 使用方法

### ◆正回転・逆回転・安全ロックを切り替える

正逆スライドスイッチを押すと、回転方向を切り替えることができます。

下図をご参照ください。中間の位置ではロックがかかり、トリガスイッチが引けなくなります。



### ◆トリガスイッチを操作する

- ・トリガスイッチを引くと、インパクトレンチの電源が入り、アンビルが回転します。
- ・トリガスイッチを放すと、本体の電源が切れ、停止します。
- ・トリガスイッチの引き加減により、回転数を調節できます。
- ・トリガスイッチを操作すると、自動で LED ライトが点灯します。最後の操作から約 10 秒間点灯し、自動で消灯します。
- ・トリガスイッチを操作すると、本体のパネルボタンが点灯し、モードの切り替えができるようになります。モードの切り替えは、最後の操作から約 10 秒間可能です。

## 使用方法

### ◆モードの切り替え

パネルボタンを押すと、3段階の動作モードを切り替えることができます。パネルボタンを押すごとに、モード1 → モード2 → モード3 → モード1 → … と切り替わります。以下の表を参考に作業内容に合ったモードを選んでください。

※ボルト等の締め付け作業を行うときは、必ずトルクレンチにて締め付けトルクの確認をしてください。



### パネル表示

	点灯		消灯
--	----	--	----

### 正回転(右回転)

モード	パネル表示	無負荷回転数	モードの説明
1		1,000 min <sup>-1</sup>	<b>手回しモード:</b> アルミホイールなどネジの噛みこみ(かじり)を抑制する低トルク目的のモードです。 <u>負荷がかかると自動停止します。</u>
2		1,600 min <sup>-1</sup>	<b>仮締めモード:</b> 自動車のホイールナット作業においてトルクレンチで最終確認を行なう前の仮締め目的として使用できます。 <u>打撃開始後一定時間で自動停止します。</u>
3		2,800 min <sup>-1</sup>	<b>最大パワーモード:</b> 最も強く、早く作業ができます。締め付け力が必要な場合や、作業スピードを重視する場合に使用します。

### 逆回転(左回転)

モード	パネル表示	無負荷回転数	モードの説明
1		1,000 min <sup>-1</sup>	パワーやスピードを抑えられます。緩めるのに力を必要としない場合や、慎重な作業が求められる場合に使用します。
2		2,000 min <sup>-1</sup>	
3		2,800 min <sup>-1</sup>	最も強く、早く作業ができます。ネジが固く締まっている場合や、作業スピードを重視する場合に使用します。

## 使用方法

---

### ◆締め付けトルクに影響する要因

#### 1. 締め付け時間

締め付け動作を続けると、締め付けトルクは徐々に増加しにくくなります。特に締め付け時間が 10 秒以上になると、それ以上の効果は期待できません。

#### 2. バッテリー残量

バッテリーは残量が減ると、特に電池切れの間隙で大きく電圧が下がります。そのため、出力が小さくなり、締め付けトルクは低下します。

#### 3. ソケットの摩耗またはひび割れ

ソケットの六角面または四角ドライブ部に摩耗やひび割れがあると、締め付けトルクが低下します。

※事故の原因となりますので使用を中止してソケットの交換を行ってください。

#### 4. ボルト

一般にボルトの径が大きいほど、大きな締め付けトルクが必要になります。また、ボルトのトルク係数や等級、長さによっても締め付けトルクは変化します。

#### 5. 座面の状態

締め付ける対象の座面の仕上がりによって、締め付けトルクは変化します。

#### 6. 持ち方

インパクトレンチ本体がボルトに対して傾いていると、締め付けトルクが正しく伝わりません。本体は、ボルトに対してまっすぐにし、軽く押し付けながら締め付けてください。

#### 7. トリガスイッチの引き込み量

トリガスイッチの引き込みが浅いと、締め付けトルクが低下します。強く締め付けたい場合は、トリガスイッチを一番奥まで引き込みます。

## 輸送

---

### ◆輸送

リチウムイオンバッテリーは、危険物の輸送に関する法律の対象となります。第三者（航空輸送や運送業者など）が輸送する場合、梱包とラベルに関する特別な要件があります。

本製品の出荷の準備は、輸送の専門業者に相談してください。

損傷や故障のあるバッテリーは、輸送しないでください。

本製品は海外安全規格の認証を取得していないので、海外でのご使用、輸出は不可です。

## 保管

△警告	・使用しないときは、インパクトレンチ本体または充電器からバッテリーを外してください。
△注意	・ケースが無理なく閉じる向きや位置で収納してください。 コードを挟んだり、無理に折り曲げたりしないでください。 ・製品が落下しないような、安定した置き方で保管してください。 ケースを持ち手で吊り下げないでください。 ・使用しないときは、製品をケース内に保管してください。 ・使用しないときは、電源コンセントからプラグを外してください。

### ◆保管

以下の環境を避けて保管してください。

- ・屋外
- ・夏場の車内など高温になる環境
- ・直射日光の当たる環境
- ・湿った環境
- ・ほこりや粉じん、引火物、爆発物のある環境
- ・油や溶剤、薬品などで汚れた環境
- ・子供の手が届く所

## 保守点検／修理

△警告	・インパクトレンチ本体や充電器の保守や点検をする前に、バッテリーを取り外してください。 ・充電器の保守や点検をする前に、電源コンセントからプラグを外してください。
-----	--

### ◆製品の点検

- ・製品は、定期的に各部のネジにガタつきや緩みがないかを確認してください。  
けがや事故の恐れがあります。
- ・製品は、定期的に油やほこりなどの汚れがないか、確認してください。
- ・製品を落としたり、ぶつけたりした場合は、専門業者に点検を依頼してください。
- ・バッテリーは、使用前に液漏れがないか、確認してください。
- ・充電器は、使用前にコードの断線や被覆の損傷がないか確認してください。
- ・異常があった場合は、販売店または当社にご相談ください。

## 保守点検

### ◆ソケットの点検

- ・ソケットは、定期的に六角面または角ドライブ部に、摩耗やひび割れなどがないか確かめてください。締め付けトルクの低下や破損し事故の原因となりますのでソケットの交換を行ってください。

## 清掃

△警告	・製品内部に液体を侵入させないでください。
△注意	・定期的に清掃し、きれいに保ってください。 ・清掃に薬品や溶剤を使用しないでください。

### ◆清掃方法

- ・乾いた布、もしくは石鹼水に浸してよく絞った布を使い、きれいに拭いてください。
- ・本体と充電器の通気口にほこりがたまっている場合は、丁寧に取り除いてください。
- ・ガソリンやアルコール、ベンジン、シンナー、ケトン類(アセトン等)、エーテル類、および他の類似の化学物質は、清掃に使用しないでください。変色や変形、ひび割れの原因になります。

## 異常時の処置

△警告	・摩耗した部品、劣化したバッテリー、故障した製品は使用しないでください。 ・インパクトレンチ本体・充電器・バッテリーは、分解や修理、改造しないでください。 ・製品の修理は、お買い上げの販売店または当社までご相談ください。
-----	--

### ◆トラブルシューティング

症状	原因	対処方法
充電できない	充電器の電源が入っていない	取扱説明書に従って、電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。
	バッテリーが充電器に十分に差し込まれていない	一番奥までバッテリーを差し込んでください。
充電が完了しない	バッテリーもしくは充電器の故障	取扱説明書の手順で充電しても完了しない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

## 異常時の処置

症状	原因	対処方法
動かない	温度保護回路の作動	使用を中止し、冷めるまでお待ちください。
	バッテリーの充電切れ	充電してください。
	部品の破損・故障	お買い上げの販売店または当社へ修理をご相談ください。
ネジが締まらない・緩まない	ソケットのサイズが合っていない	ボルト・ナットに合ったサイズのソケットをご使用ください。
	製品の能力を超えている	製品の能力と適用ボルトサイズをお確かめいただき、作業内容に合っていないようでしたら、他の機種での作業をご検討ください。
	内部部品の摩耗	お買い上げの販売店または当社へ修理をご相談ください。
	アンプルの破損	アンプルの交換が必要です。お買い上げの販売店または当社へ修理をご相談ください。
	バッテリーの劣化	バッテリーの寿命です。新しいバッテリーに交換してください。
本体やバッテリーが熱い	連続使用	休止時間を増やしてください。
	通気口が詰まっている	本体の通気口は定期的に清掃してください。使用中に通気口を覆わないでください。
異常な音や振動がある	部品や先端工具の摩耗・破損	部品交換をお願いいたします。
	間違った持ち方	ボルトに対してまっすぐに持ちます。無理に力をかけないでください。
	製品の能力を超えている	仕様を示された範囲で作業をしてください。

※不良や異常な状態のまま使用した場合、製品の故障や事故の原因となりますのですみやかに修理を依頼してください。修理はお買い上げの販売店にご相談ください。

## 廃棄

△注意 ・リチウムイオンバッテリーは廃棄せず、リサイクルへ。

### ◆廃棄

インパクトレンチ本体、充電器は、それぞれの地域に合った廃棄方法で適切に処理してください。

損傷や劣化により使用できなくなったバッテリーは、お買い上げの販売店、もしくはJBRC リサイクル協力店へご持参いただき、リサイクルにご協力ください。



※リチウムイオンバッテリーはリサイクルへ

## 電波障害

△警告 ・本製品を医療機器の近くで使用しないでください。  
電波が影響を与えるおそれがあります。

△注意 ・本製品を自動ドア、火災警報器などの自動制御機器の近くでは使用しないでください。  
電波が影響を及ぼし、誤作動の原因となるおそれがあります。  
・ラジオやテレビの近くで使用しないでください。  
ノイズが入る場合があります。

## アフターサービス

1. 本機の性能、品質または取扱いなどのお問い合わせは、お買い上げの販売店または当社へご連絡ください。
2. 修理等は下図の経路でご送付ください。直接当社へ送付されるとかえって遅れますので避けてください。

ユーザー → 販売店 → 当社

※製品の故障や修理、メンテナンスはお買い上げの販売店または当社までご相談ください。

## 検査合格証

製造番号

本機は性能およびその他の出荷検査をした後出荷されております。  
本機が性能を発揮するために、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

検査:



VESSEL Co., Inc.

# 株式会社ベッセル

お客様お問い合わせ窓口

**06-6976-7771** 8:30-17:30 ※平日の12:00～13:00、土・日・祝日・夏期休暇・年末年始は除きます。

本社 〒537-0001 大阪市東成区深江北2丁目17番25号 TEL.06-6976-7771 FAX.06-6971-1309  
札幌出張所 〒065-0011 札幌市東区北11条東14丁目1番1号 TEL.011-711-5003 FAX.011-704-4725  
仙台出張所 〒984-0002 仙台市若林区卸町東1丁目2番10号 TEL.022-236-1567 FAX.022-232-7959  
北関東営業所 〒370-0044 群馬県高崎市岩押町27番6 TEL.027-310-3757 FAX.050-3852-2745  
東京支店 〒143-0025 東京都大田区南馬込5丁目43番13号 TEL.03-3776-1831 FAX.03-3776-5607  
名古屋営業所 〒457-0014 名古屋市南区呼統四丁目3番1号 TEL.052-821-9575 FAX.050-3606-2649  
大阪支店 〒537-0001 大阪市東成区深江北2丁目17番25号 TEL.06-6976-7772 FAX.06-6971-1309  
広島出張所 〒733-0035 広島市西区南鏡音7丁目8-11 TEL.082-291-0106 FAX.082-295-1727  
福岡営業所 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南6丁目1番22号 TEL.092-411-5710 FAX.092-411-5770

• 改良のため予告なく仕様・サイズ等を変更することがあります。

[www.vessel.co.jp](http://www.vessel.co.jp)

SP-8141J 3.0